

広島大学出張講義

10月11日（金）、広島大学生物生産学部・研究者養成特別コースより西堀正英准教授をお招きし、『食を通して農学を考える～生命・食・環境のサイエンス（農学&生物生産学の楽しさを皆さんに）～』というテーマで、出張講義を行っていただきました。本講義は食堂で弁当を食べながら講義を受けるという新しいもので、1～3年生の希望者47名が参加し、出張講義を受講しました。



今回の出張講義を受けて、感想をいくつか紹介します。

「身近なことからだんだんと本題へ近づいていくので、すごく引き込まれました。」

「今回の講義でいろいろなものを見る目が変わりました。また講義を受けたいと思いました。」

「お昼を食べながらというのが新鮮でした。身近なお弁当箱の中にも遺伝、突然変異などいろいろな発見があるということを知りました。『好きこそものの上手なれ』。今後、自分で興味があることを調べていきたいと思います。」

「今回の講義を受けて改めて進路を考えようと思いました。」

感想からは、受講者それぞれにとって有意義な経験になったことが見て取れます。生徒が自らの進路を考える上での参考になったものと思います。西堀先生、有意義な時間をありがとうございました。